

未来の環境を デザインする

環境の視点から、持続可能で安心
できるくらしの未来像を考えます。
分野や立場を越えた知見をつなぎ、
その実現に向けた道筋を探ります。

第70回生活と環境全国大会
2026.10.21／10.22
埼玉県さいたま市

提供：さいたま市

主催
後援
協賛
会場
参加費

一般財団法人日本環境衛生センター
環境省、厚生労働省、埼玉県、さいたま市
生活衛生・環境保全関連団体
ソニックシティ(埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5)
無料
※事前申込制(2026年8月頃開始予定)

最新情報↓



大会式典

環境大臣表彰、厚生労働省
局長感謝状贈呈など。
有識者による特別講演も
行います。



公開講座

廃棄物・資源循環、生活衛生、
環境保全の3分野の講座です。
学識者や行政などの視点から、
最新情報をお届けします。



※その他、併催行事(全国環境衛生・廃棄物関係課長会、全国環境衛生職員団体協議会等)、生活と環境展示会といった
プログラムを予定しています。

お問合せ

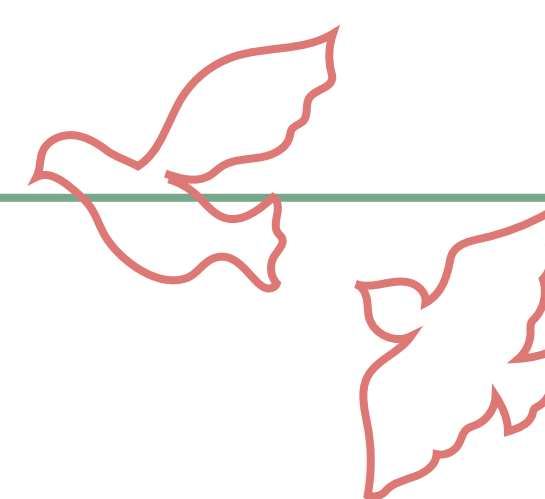
一般財団法人日本環境衛生センター 総局 管理部 広報課



044-288-5095



kikaku@jesc.or.jp





どなたでも参加可能なプログラム

大会式典・特別講演

10:30～12:00 (受付開始 10:00) @ 小ホール

大会式典

表彰状贈呈式

(環境大臣表彰／厚生労働省健康・生活衛生局長感謝状／生活と環境全国大会長感謝状)

特別講演



「なぜクマは人里に来るのか？－生活環境から考える対策－」

講演者 山崎 晃司 氏 (茨城県自然博物館 館長)

東京農業大学名誉教授。野生動物管理学を専門とし、クマ類の生態と保護管理を研究。環境省令和7年度「クマ類保護及び管理に関する検討会」委員を務めた。著書に「ツキノワグマ そこにいる野生動物」「ムーン・ベアも月を見ている クマを知る、クマから学ぶ」など。

生活と環境展示会

10:00～15:00 @ 国際会議室前ホワイエ他

17の企業・団体によるブース展示・ポスター展示。
ごみ処理・資源循環、水処理・環境衛生、施設整備など、
生活と環境に関わる幅広い分野の企業・団体が出展予定。

出展者と直接話しながら情報収集や意見交換ができる機会として、ぜひお気軽に来場ください！

両日
開催

環境保全公開講座

13:00～14:30 @ 国際会議室

テーマ 「基準値はどうデザインされるのか：PFAS等の話題から学ぶ」

講演者

築山 直弘 氏 (環境省 水・大気環境局)
「有機フッ素化合物 (PFAS) に関する環境省の取組、及び水道水質基準の設定」

永井 孝志 氏 (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)
「基準値の根拠から考える環境リスク」

茂木 守 氏 (埼玉県環境科学国際センター)
「埼玉県における河川水のPFASモニタリング」

堀内 泰 (日本環境衛生センター 環境科学部)
「基準値の信頼を支えるJESCの取組：統一精度管理調査の紹介」



全国環境衛生・廃棄物関係課長会 会員限定プログラム

プログラム	時間(予定)	会場
廃棄物部会	14:45～16:45	市民ホール402
環境衛生部会	14:45～16:45	市民ホール403
総会	17:00～17:30	市民ホール403



どなたでも参加可能なプログラム

廃棄物最新処理技術セミナー

12:00～14:00 @ 小ホール

テーマ 「ごみ処理施設におけるデジタル技術の導入とその効果」

発表企業

カナデビア株式会社／株式会社タクマ／JFEエンジニアリング株式会社／
株式会社神鋼環境ソリューション／日鉄エンジニアリング株式会社／
川崎重工業株式会社／荏原環境プラント株式会社

生活衛生公開講座

14:20～16:20 @ 国際会議室

テーマ 「建築物衛生の未来を考える&害虫獣に関する取り組みと課題」

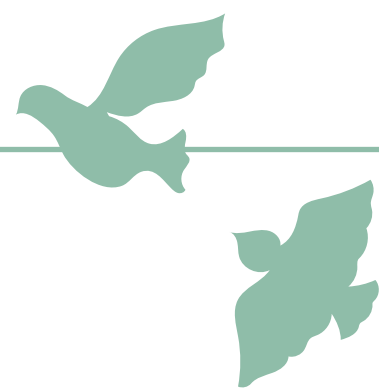
講演者

本間 義規 氏 (国立保健医療科学院)
「建築物衛生法の現状と建築物衛生の未来を考える」

儀同 清香 氏 (埼玉県衛生研究所)
「衛生害虫に関する検査事例と研究等の取り組み」

石井 真 氏 (埼玉県ペストコントロール協会)
「鳥インフルエンザ発生時の車両消毒対策の実際と課題について」

塩手 文也 (日本環境衛生センター 環境生物衛生部)
「環境生物衛生部の取り組み紹介」



廃棄物公開講座

14:30～16:30 @ 小ホール

テーマ 「ごみ量、ごみ質の変化を踏まえた今後のごみ処理」

講演者

川本 健 氏 (埼玉大学大学院理工学研究科)
「開発途上国での廃棄物管理能力向上支援：科学技術外交の展開事例」

福井 和樹 氏 (環境省 環境再生・資源循環局)
「一般廃棄物処理施設の整備・運営について」

パネルディスカッション

開催地近隣で熱回収施設の整備を進める自治体をお招きし、事例紹介と今後のごみ処理に向けた課題や工夫を議論します。

- コーディネーター：藤原 周史 (日本環境衛生センター 理事)
- パネラー：川口市、千葉市、行田羽生資源環境組合

全国環境衛生職員団体協議会 関連プログラム

事例研究発表会はどなたでも参加可能です。自治体職員による環境衛生行政の取り組みを紹介します。ぜひ情報収集にお役立てください。総会は全国環境衛生職員団体協議会会員限定プログラムです。

プログラム	時間	会場
事例研究発表会	10:00～12:45	市民ホール402
総会	13:30～14:00	国際会議室